

落語からみる、暮らしを愉しむDIY

2021年は、11都府県にて新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出に加え、寒波による風雪被害が続き、重苦しいスタートとなりました。その中で元気を頂きたく、大阪府茨木市様が主催の「空き家」をテーマにした市民向け対面型セミナーに参加して参りました。

「空き家も維持管理をキチンとすれば、直ぐに利活用が可能」の観点より、「①建物の周りをキレイにし、②小まめに建物を観察し、③建物の現状を知る事は、“維持管理”の第一歩です。」と、講師の一級建築士の言葉が印象に残りました。

さて、今月は肩の力を抜いて、ライトな話題を提供致します。

今月のメールマガジンの担当Yは上方落語が好きで、約10年前にオープンした上方落語の定席「繁昌亭(はんじょうてい)」は、隣にある学問の神様「大阪天満宮」と並んで大阪の名所になった事を嬉しく思っています。

また、天神橋筋六丁目交差点南東角の大阪市立住まい情報センター8階「大阪くらしの今昔館」は、江戸時代の大阪の商家のまちなみを実物大に再現した施設で、見習いの落語家が、建物や建具、道具などを見て、落語の修行に役立てられていると聞いています。

上方落語の中で私が好きな噺のひとつ「書割盗人(かきわりぬすつと)」(江戸落語では「だくだく」)は、現代でいうDIYを活用した事例のひとつだと思ひ、聴いています。

噺のあらすじは、宿替え(引越し)をした男性が、家財道具を全て売ってしまった事から始まります。

空っぽになった長屋の1室があまりにも殺風景の為、近所の画家に頼み込み、居眠りしている猫、美しい景色が見える窓、立派な箆笥、火が点いているかまど、大きな金庫、お金持ちと思われると用心が悪かろうと護衛の槍など、男性の要望の絵を壁から天井からふんだんに描いてもらいます。

その晩、美しい景色が見える窓(の絵)を見て当たりを付けた盗人は、「窓が開けばなしで用心が悪い家」と思い込んで盗みに入ったものの、箆笥の引き出しは開かない、金庫も開かない。盗人が慌てる仕草を寝たふりをして楽しみながら観察している男性。その後の男性と盗人との掛け合いがとても楽しい噺で、続きは寄席のネット配信等で聴いて頂ければ嬉しいです。

「書割盗人」は、暮らしを愉しくする知恵とユーモアを感じます。現代でも錯覚を起こしそうなレンガ柄や本棚柄、森や空の写真の壁紙を使い、DIYで暮らしを愉しまれている方が多くなってきています。

DIYにチャレンジされる際には、是非、点検登録店にご相談ください。きっと、道具の使い方や材料の選び方など、ご相談に乗って頂けるかと思ひます。

以上

★気になる「床下」を住宅メンテナンス診断士が診断！「住宅メンテナンス診断<床下編>」

京阪神エリア限定、キャンペーン実施中！（お申込み：2021年2月22日迄）

<https://yukashita.holsc.or.jp/>

以上（文責Y）

<賛助会員様の情報提供>

<https://kitoiro.com/> 無垢の木に様々な色や柄を特殊塗装「kitoiro」-柾ウッドワン

<https://www.woodone.co.jp/product/kitchen/> 木を育てている会社を作る、木のキッチン！-柾ウッドワン

<https://www.jfd-gr.co.jp/> 地盤調査・改良工事のエキスパート-柾JFDエンジニアリング

※ 維持保全計画、点検の実施についてのご質問、ご不明の点は、事務局までお問合せください。

※ 「登録住宅いえかるて」については、ホームページをご覧ください。<http://www.holsc.or.jp/iekarute/>

※ 「登録住宅いえかるて」WEBの「住宅所有者ID」をお忘れの方や不明の方、ご質問や資料をご希望の方、「担当の点検登録店」がご不明の方は、info@holsc.or.jpへメールをお願い致します。

※ センターのブログ、Facebookも是非ご覧ください。

● ブログ <http://www.holsc.or.jp/information/blog/>

● Facebook <https://www.facebook.com/一般社団法人-住宅長期支援センター-265533456815676/>

※ お住まいのご質問や相談、空き家の管理や活用の電話相談を承っています。

※ 自治会や子供会等へ「住まいの出前講座」をお受けしています。イベント企画にご利用ください。

※ このメールマガジンをご希望、又は不要の場合は、info@holsc.or.jpへご連絡をお願い致します。